



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月9日

上場会社名 日本プラスト株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7291 URL https://www.n-plast.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永野 博久
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画本部長兼 (氏名) 豊田 剛志 TEL 0544-58-9080
 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	27,819	1.3	1,183	△8.4	1,021	△26.8	531	△50.1
2019年3月期第1四半期	27,454	△5.4	1,292	46.3	1,395	43.4	1,065	82.1

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 764百万円 (310.2%) 2019年3月期第1四半期 186百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	27.42	—
2019年3月期第1四半期	54.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2020年3月期第1四半期	76,525		34,171		44.7	
2019年3月期	76,367		33,600		44.0	

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 34,171百万円 2019年3月期 33,600百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	8.50	—	10.00	18.50
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	55,000	△1.5	1,850	△11.4	1,800	△15.7	1,150	△23.0	59.32
通期	110,000	△4.8	4,000	△27.0	3,800	△30.2	2,500	△35.6	128.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	19,410,000株	2019年3月期	19,410,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	24,556株	2019年3月期	24,309株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	19,385,571株	2019年3月期1Q	19,386,665株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善が続き、個人消費、設備投資は底堅く推移しているものの、世界経済の減速等を受け、力強さを欠く状況にあります。一方、世界経済においては、米国は良好な雇用・所得環境を背景とした個人消費の拡大等を受け、景気回復は維持しているものの、米中貿易摩擦問題や中国経済の減速、英国のEU離脱問題等、経済動向や政策を巡る不確実性の高まりにより、先行きは不透明な状況にあります。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間における売上高は、主に北米での前突系安全部品の新規立ち上がり等により前年同期比1.3%増の27,819百万円となりました。損益面では、日本での車種構成差及び新規車種立ち上がりによる費用増加等により営業利益は前年同期比8.4%減の1,183百万円、経常利益は前年同期比26.8%減の1,021百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比50.1%減の531百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 日本

国内の売上高は、得意先の減産影響はあるものの、新規車種立ち上がり等により8,493百万円と前年同期に比べほぼ横ばいの26百万円(△0.3%)の減収となりました。セグメント利益は、車種構成差及び新規車種立ち上がりによる費用増加等により1百万円と前年同期に比べ356百万円(△99.5%)の減益となりました。

② 北米

北米の売上高は、セダン系車種の販売不振及び得意先の減産影響はあるものの、前突系安全部品の新規立ち上がり等により12,171百万円と前年同期に比べ1,028百万円(9.2%)の増収となりました。セグメント利益は、増収影響等により330百万円と前年同期に比べ158百万円(92.4%)の増益となりました。

③ 中国

中国の売上高は、得意先の減産影響及びフルモデルチェンジに伴う仕様差等により6,169百万円と前年同期に比べ729百万円(△10.6%)の減収となりました。セグメント利益は、減収影響等により723百万円と前年同期に比べ57百万円(△7.4%)の減益となりました。

④ 東南アジア

東南アジアの売上高は、前突系安全部品の新規立ち上がり等により984百万円と前年同期に比べ91百万円(10.3%)の増収となりました。セグメント利益は、新車効果等により175百万円と前年同期に比べ100百万円(133.4%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、76,525百万円となり、前連結会計年度末に比べ158百万円増加しました。これは受取手形及び売掛金の増加485百万円が主な要因であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、42,354百万円となり、前連結会計年度末に比べ412百万円減少しました。これは支払手形及び買掛金の減少1,046百万円が主な要因であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、34,171百万円となり、前連結会計年度末に比べ570百万円増加しました。これは為替換算調整勘定の増加388百万円及び利益剰余金の増加337百万円が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第1四半期の業績並びに足元の状況から判断し、概ね第2四半期連結累計期間の業績は計画通り進むものと考えられ、現時点においては2019年5月13日公表の業績予想の変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,819	11,177
受取手形及び売掛金	13,729	14,215
製品	1,843	1,787
仕掛品	988	869
原材料及び貯蔵品	10,720	10,487
その他	2,486	2,215
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	40,584	40,749
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,885	9,862
機械装置及び運搬具(純額)	11,776	11,338
工具、器具及び備品(純額)	3,874	3,679
土地	4,435	4,441
その他(純額)	930	2,536
有形固定資産合計	30,902	31,858
無形固定資産		
特許権	437	406
その他	1,168	452
無形固定資産合計	1,606	858
投資その他の資産		
投資有価証券	2,460	2,255
繰延税金資産	216	205
その他	606	606
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	3,274	3,059
固定資産合計	35,783	35,775
資産合計	76,367	76,525

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,783	11,737
短期借入金	9,944	10,277
1年内返済予定の長期借入金	3,309	3,205
未払法人税等	200	161
賞与引当金	988	396
役員賞与引当金	98	20
製品保証引当金	145	147
その他	5,341	6,747
流動負債合計	32,810	32,694
固定負債		
長期借入金	6,518	6,260
繰延税金負債	185	232
退職給付に係る負債	2,481	2,448
役員退職慰労引当金	506	500
その他	263	217
固定負債合計	9,955	9,660
負債合計	42,766	42,354
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,206	3,206
資本剰余金	5,213	5,213
利益剰余金	28,288	28,625
自己株式	△15	△16
株主資本合計	36,692	37,029
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	717	566
為替換算調整勘定	△3,876	△3,488
退職給付に係る調整累計額	67	63
その他の包括利益累計額合計	△3,091	△2,858
純資産合計	33,600	34,171
負債純資産合計	76,367	76,525

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	27,454	27,819
売上原価	24,382	24,766
売上総利益	3,072	3,052
販売費及び一般管理費	1,779	1,869
営業利益	1,292	1,183
営業外収益		
受取利息	18	23
受取配当金	21	22
投資不動産賃貸料	16	16
持分法による投資利益	15	1
為替差益	14	—
受取和解金	84	—
雑収入	40	39
営業外収益合計	209	104
営業外費用		
支払利息	94	104
為替差損	—	146
雑損失	11	15
営業外費用合計	105	266
経常利益	1,395	1,021
税金等調整前四半期純利益	1,395	1,021
法人税等	330	490
四半期純利益	1,065	531
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,065	531

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	1,065	531
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9	△151
為替換算調整勘定	△862	388
退職給付に係る調整額	△7	△3
その他の包括利益合計	△879	233
四半期包括利益	186	764
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	186	764

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

当社グループの一部の在外連結子会社は、当第1四半期連結会計期間より、IFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、借手のリース取引については、原則すべてのリースについて使用権資産及びリース債務を認識するとともに、使用権資産の減価償却費とリース債務に係る支払利息を計上しております。本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、当該会計基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、従来無形固定資産の「その他」に含めて記載しておりました土地使用権につきましては、当第1四半期連結会計期間より使用権資産として有形固定資産の「その他(純額)」に含めて記載しており、その金額は1,038百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	北米	中国	東南アジア	
売上高					
外部顧客への売上高	8,519	11,142	6,899	892	27,454
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,415	6	661	1,171	3,254
計	9,935	11,149	7,560	2,063	30,709
セグメント利益	358	171	780	75	1,386

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,386
セグメント間取引消去	△125
その他の調整	31
四半期連結損益計算書の営業利益	1,292

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	北米	中国	東南アジア	
売上高					
外部顧客への売上高	8,493	12,171	6,169	984	27,819
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,136	23	543	1,565	3,269
計	9,630	12,194	6,713	2,550	31,089
セグメント利益	1	330	723	175	1,230

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,230
セグメント間取引消去	△43
その他の調整	△3
四半期連結損益計算書の営業利益	1,183